

改革

JJ1SXA 池

「改革」を辞書で調べたら、・・・(1)よりよくあらためること、(2)基盤は維持しつつ、社会制度や機構・組織などをあらため変えること・・・とありました。

また、ポラロイドの考案者エドウィン・ランドは、「どうして写真は、すぐ見られないの？」という愛娘の言葉をヒントにインスタント写真を開発したそうです。

彼は、「改革というのは新しいアイデアを持つことでは無く、古くさいアイデアを持たないことである」と言っています。

ふ〜んと、感心したついでに、新しいアイデアということが必要なのかと思ったまでは良いが、凡人には簡単に新しいアイデアなど浮かびようが無く、またまた落ち込みそうですが、どうせ難しい事は無理なのだから、分相応に、他人には笑われるかも知れないようなことでも、疑問を持つことが大事なことと再認識です。

スカイプを利用した携帯電話でのフォンパッチや、クロスバンドコンタクト、更に発展させてワイヤーズのシステムを借りての簡易クロスバンドレピーターも、考えついた時は、240の中では大いに利用価値があるだろうと内心密かに結構良いアイデアだと思ったが、実際には余り大した事では無さそうで、皆さんの反応も一部の局を除いてはイマイチ、一寸がっかりですが、がっかりしてばかりではいられません、ちゃんとしたシステムにして、実用になるようにすることの方が大事と気を取り直し、懲りもせず次には何か無いかと思案中、まあ、ボケ防止にはなっていることでしょう。

無線関係にしろ、パソコンにしろ、基礎的な知識や技術が無いのだから、ハード面よりも、ソフト面で240の「改革」ということにでも、もう少し頭を働かせた方が良いのかも知れませんが、それには、「基盤は維持しつつ、社会制度や機構・組織などをあらため変えること」という、「改革」の意味を踏まえて考えなければいけないようです。

240の「基盤」は、何ととっても50MHzのモービル運用の同好の士の集まり、やはりここが原点です、後は、制度や機構・組織と言う事になりますが、正式なクラブでは無く、同好の士の集合体となれば、制度や機構・組織などは、有って無いようなもの、と言うより無いのですから、「あらため変えること」など当然無いわけです。

240のキーワード「より強く、より遠く」、「紳士的に」、そして「ブレイクは、誰でも、何時でも、何処からでも」は、古くさいアイデアかと考えてみましたが、「サブ周波数」や「合議制」等を含め、随分昔からの了解事項・申し合わせ事項全ては、決して古くさいアイデアでは無さそうです、逆に、このことを知らない局、忘れていた局、実践しない局が増えてきた事の方が問題で、このことを再認識してもらおう事の方が「改革」と言えるかも知れませんが、主旨と運用心得等はホームページに掲載してあるが、残念ながらそれも見てもらえない、世間は、ホリエモンや耐震偽装等の騒動で揺れ、「小泉改革」とは何だ？と問われる中、天皇家のおめでたニュース、やはり「改革」は難しい。